



未来の先生展
2017

子どもたちの心をつかむ社会科授業の作り方

開催日時 2017年8月26日(土) 14:20-15:50

場 所 武蔵野大学有明キャンパス1号館3F 307教室

講演者 古川光弘 (兵庫県佐用郡佐用町立三河小学校教頭)

内容

私のめざす社会科授業は、「めあて学習」からの脱却です。

授業には、「ねらい」があります。これだけは何としても教えたいというものです。この「ねらい」を、6つの教育技術を駆使しながら、『楽しそうだ！ 学んでみたい、追究したい、調べたい！』というものに転化しないとけません。そんな社会科授業の作り方について、具体的な教材を提示しながら解説します。

ここに注目！

講座の中で、いくつかのオリジナル教材をご紹介します。

教材になりそうな素材の見つけ方、そしてその素材をどのようにして教材化するかという点に注目です。

若き日の私の映像も出てきます。20代、30代の頃、夢中になって教材開発をしていた時の私の姿にもご注目ください。今と違って、とっても可愛いですよ(笑)。

講演者プロフィール



古川 光弘

兵庫県佐用郡佐用町立三河小学校教頭

神戸大学教育学部初等教育学科卒業。「子どもをどうつかむか」を生涯のテーマとし、日々の実践を行う。

これまで30年間の教室実践の足跡は、400本を超える雑誌論文や著書・共著などにまとめ発表している。全国各地のセミナーで参加者に勇気と感動を届ける「教育技術の伝道師」。「やってみたくなるわかりやすい実践」「目から鱗の腑に落ちる理論」を各地のセミナーで分かりやすく解説。

著書は「子どもの心をつかむか」(明治図書)をはじめ、「1年生の授業・10分間パーツ教材で集中力を高める」「6年の学級経営・絶対成功する年間戦略」(共に明治図書)「『古川流』戦略的学級経営・学級ワンダーランド計画」(黎明書房)」他多数

講演者から参加者へのメッセージ

社会科が嫌いな子どもたちが増えてきている今、

「社会科っておもしろい！」と思わせることが大切です。

そのためには、何と言っても、おもしろい教材(ネタ)を見つけて、授業に持ち込まなければなりません。社会科の授業は、その教材の良し悪しで決まります。

「材料七分に腕三分」です。

「1時間に1度も笑いのない授業をしたら、ただちに逮捕する」という有田和正氏の思いを受け継いだユーモアたっぷりの社会科授業を創っていきましょう！

